

福島県では、県産食品の放射性物質検査を実施し、速やかに結果を公表しています。また、キャンペーンやイベントを実施し、県産品の安全性や魅力を県民の皆さまや全国の消費者の方へ発信しています。



おいしいふくしまを
育てる

檜葉町で6年ぶりに米作りが再開

檜葉町では、平成25年から米の実証栽培に取り組み、安全性の確認を積み重ねてきました。昨年9月に町の避難指示が解除されたことに伴い、今年からは希望する農業者すべてが稲を作付できるように、上繁岡水田復興会をはじめ、14戸の農家が米作りを再開しました。

上繁岡水田復興会



力をあわせて勝ち取った、未来への一歩

上繁岡水田復興会は、震災前から交流があった仲間が集まって結成した会です。今は大分人数が増えましたが、初めは6人。避難していたいわき市から毎日約2時間かけて車で通いながら、試験栽培や農地の保全に努めてきました。当時は交通量がとても多く渋滞には大分悩まされましたが、仕事を再開できることが何よりも嬉しくやり甲斐もあるため、大変だと思ったことはありません。ここに来れば仲間会えますし、みんながいたから今まで頑張ることができました。一人だったら、途中で心が折れていたと思います。今回、米作りが再開できたのは、みんなの努力があったからこそ。それだけに本当に感慨深いです。



来春に向けて進行する、さまざまな取り組み

農業は自分が手をかけた分だけ収入が入る仕事です。機械を持っていないと始めるのが難しい部分もありますが、本気で営農再開を目指す人は大歓迎ですし、できる限りお手伝いしたいと考えています。7月末には6年ぶりに「檜葉町サマーフェスティバル」、8月には竜田駅前で盆踊りが開催されるなど、檜葉町はゆっくりではありますが着実に復興に向かっていきます。上繁岡水田復興会でも、来春の帰還に向け、堤の下のサクラが咲く頃に合わせて菜の花を植える計画が進行中です。やりたいことはたくさんありますが、欲張らずに今できることからやっいていこうと思っています。その一歩として、今年は約4.5ヘクタールに稲を植えました。来年はあと1カ所増やす予定。そうやって今後さらに作付面積を増やし、おいしい米を作っていきたいです。(上繁岡水田復興会 佐藤充男代表)



福島県が発行する「ふくしまの今」が分かる新聞では、県内に居住している皆さま、福島県内外に避難されている皆さま、そして被災者・避難者支援に携わる多くの皆さまへ、避難者支援の状況や福島の復興への動きなど「ふくしまの今」が分かる情報をお届けします。

故郷とあなたをつなぐ情報紙



ふくしまの
今
が
分
か
る
新
聞

vol. 46

2016年8月24日

発行：福島県庁 避難者支援課 ☎024-523-4250

ふくしまの四季



海のおいしいふくしま

相双地域の特産品「ホッキ飯」。その材料のホッキ漁の試験操業が、6月から開始されました。



ホッキガイは、福島第一原子力発電所事故による出荷制限を受けていませんでしたが、津波で漁場が破壊され、漁は再開できないでいました。しかし、このたびがれきの撤去が終わり、6年ぶりに漁を再開しました。

また、「常磐もの」の代名詞だったヒラメも、放射性物質モニタリング結果が基準値以下となったため、出荷制限が解除されました。

他にも本県の重要対象魚種であるマアナゴ、ホシガレイなどの出荷制限も解除され、港のにぎわいが戻りつつあります。相馬市の磯部水産加工施設で不定期で開催される朝市も好評です。



福島県産農林水産物 放射性物質検査結果

福島県では、県産農林水産物の放射性物質検査を実施しています。基準値を超えた食品は、市場には流通させません。

| 品目 | 検査件数 | 平成27年4月1日～平成28年3月31日 | |
|---------------|----------|----------------------|-------|
| | | 検査件数 | 割合 |
| 玄米※1(全量全袋検査) | 約1,048万件 | 0件 | 0.00% |
| 野菜・果実 | 4,585件 | 0件 | 0.00% |
| 畜産物(原乳・肉類・鶏卵) | 4,562件 | 0件 | 0.00% |
| 山菜・きのこ(野生を含む) | 1,562件 | 7件 | 0.45% |
| 水産物(海藻を含む) | 9,215件 | 7件※2 | 0.08% |

※1 「玄米」のみ、平成27年8月20日～平成28年3月31日。
※2 水産物の7件については全て河川のもの。

米の全量全袋検査

流通する米だけでなく、生産者の自家用の米も含む全ての米を対象に、放射性物質の検査を実施しています。検査を合格した米は、ラベルを貼って出荷します。



検査済ラベル(玄米用)



検査を合格した玄米に貼付

検査済ラベル(精米用)

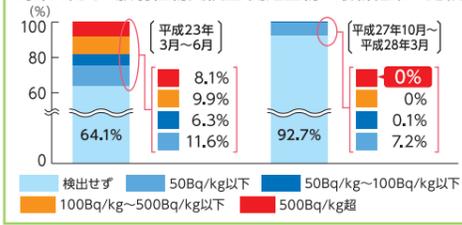


検査済み玄米を精米したものに貼付

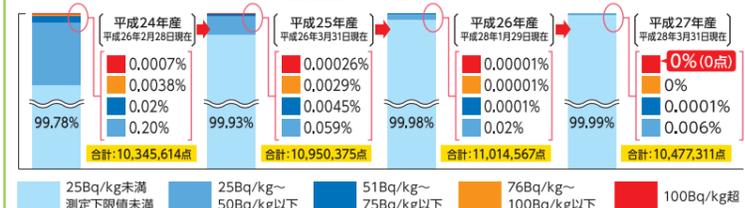
流通しているものは
全て安全・安心です!!



野菜・果実の放射性物質検査 開始当初と最新結果の比較



米の全量全袋検査結果の推移



米の全量全袋検査の結果はこちらのサイトへアクセス! 検査結果全体の概要だけでなく、玄米の個別の検査結果も確認できます。



農林水産物のモニタリング検査結果の詳細はこちらのサイトへアクセス!



全国の2,000を超える
お店が対象です

「がんばろう ふくしま!」応援店 プレゼントキャンペーン実施中

福島県産のおいしい農林水産物や加工品を販売・使用し、ふくしまを応援してくれている「がんばろう ふくしま!」応援店で、200円(税込)以上の福島県産農林水産物をお買い上げもしくは飲食されたレシートを、店内備えつけの専用応募用紙に貼付してご応募ください。抽選で県産農林水産物を月替わりでプレゼントします。

キャンペーン期間

平成28年6月1日(水)～平成29年2月20日(月)

10月以降のプレゼントや応募期間は、店頭チラシや下記WEBサイトをご覧ください。

「がんばろう ふくしま! 応援店」プレゼントキャンペーン [検索](#)

9月のプレゼント

相馬のおんちゃまの
海産物セット

レシート等有効期間
9月1日(木)～30日(金)
消印有効期間
10月3日(月)まで

※発送は10月中旬頃の予定です。



福島の食について もっと知りたい!

福島県では、メルマガやLINEで食のイベント情報を中心に、県の農林水産業に関するさまざまな取組を発信しています。

LINE@

毎週金曜日に農林水産業に関する知って得する情報をお届けしています。



メールマガジン

毎月、第2第4金曜日に農林水産業に関する旬な情報を盛りだくさんでお届けします。



福島県からのお知らせ

応急仮設住宅(仮設・借上げ住宅)の 供与期間について

東日本大震災にかかる応急仮設住宅の供与期間について、次のとおり取り扱うこといたしましたのでお知らせします。

1 供与期間の延長

次の市町村(区域)から避難されている方は、平成30年3月末まで供与期間が延長となります。

- 榎葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村及び飯館村の全域
- 南相馬市の避難指示区域及び旧避難指示区域(平成28年7月12日に避難指示が解除された区域)
- 川俣町の避難指示区域
- 川内村大字下川内字員ノ坂及びび字萩の全ての区域(平成28年6月14日に避難指示が解除された区域)

※避難指示区域とは、平成28年7月15日時点の帰還困難区域、居住制限区域及び避難指示解除準備区域を指します。
※福島県外の借上げ住宅、雇用促進住宅及びUR住宅についても、福島県より延長を要請していません。

2 平成30年4月以降の供与について

① 榎葉町から避難されている方

平成30年3月末をもって終了となります。

※自宅建築・修繕等の工期の関係で、住宅の再建が完了しない世帯につきましては、個別に延長することを検討しております。

② 榎葉町以外の市町村(区域)から避難されている方

避難指示の解除の見通しや、解除後の住居確保の状況などを見据えながら、今後判断します。取扱いにつきましては、改めてお知らせします。

参考 平成29年3月末をもって終了する市町村

福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、田村市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、大玉村、鏡石町、天栄村、下郷町、南会津町、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、会津美里町、金山町、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町、広野町、新地町

※南相馬市、川俣町及び川内村の延長される区域外から避難されている方も同様にとります。

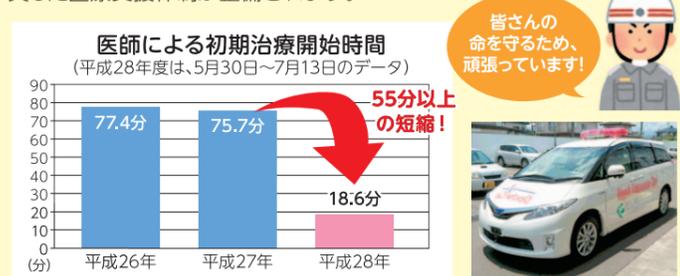
問 福島県 被災者のくらし再建相談ダイヤル ☎01200303059
午前9時～午後5時 月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く)

ふたば救急総合医療支援センターの体制について

双葉とその周辺地域における医療体制の再構築と充実を図るため、医大では「ふたば救急総合医療支援センター」を創設しました。このセンターは、双葉地域の二次救急体制の確保と、在宅訪問診療を想定した広域的な総合医療支援体制の構築の2つを目的としています。

まず先行して6月より二次救急体制の再構築がスタートしました。具体的には、医師、看護師、救急救命士が双葉消防本部に駐在し、救急隊の要請に応じて出動します。救急現場に医師を含めた医療スタッフを迅速に投入することにより、初期治療を早く開始し、さらにけがの状態や病態に応じた最も適切な病院を医師が選定、搬送することで、救命率の向上を図ります。

6～7月の運用実績では、初期治療開始までの時間を55分以上短縮する効果が表れています。医療スタッフが救急の現場にいち早く駆けつけるため、緊急走行できるラピッドレスポンスカーも配備しました。10月には在宅訪問診療も加わり、2台のラピッドレスポンスカーが運行され、より充実した医療支援体制が整備されます。



問 ふたば救急総合医療支援センター ☎024-547-1548



キビタンと行く ほっとふくしま

このコーナーでは、キビタンが見つけた魅力的で新しい「ふくしまの今」をご紹介します。

新しい福島のワインができました

今年の3月、公益財団法人三菱商事復興支援財団(以下、復興支援財団)は、福島県郡山市逢瀬町で運営する「ふくしま逢瀬ワイナリー」(以下、ふくしまワイナリー)で製造したワインとシードルを初出荷しました。今後は桃、梨のリキュールの出荷も予定しています。

ふくしまワイナリーでは、ワイン・リキュールの製造に使用する、ぶどう・りんご・桃・梨の全てが福島県産です。



問 ふくしまワイナリー ☎0120-320-307

ふくしまワイナリーは、福島県産果実の生産・加工・販売に一体的に取り組む新たな6次産業化モデルの構築を目指して、昨年10月に完成しました。今後も、農家の皆さんと協力し、福島の果実の魅力を発信してまいります。



MUSCAT BAILAY A ROSE 2015

会津産マスカット・ベリーAを使用したスパークリングワイン。心地よい泡にイチゴのようなフレッシュで甘やかな香りが口いっぱいに広がります。



CIDLE 2015

福島県産林檎「ふじ」を使用したシードル。太陽の恵みをたっぷり受けじっくり完熟したふじの、フレッシュな香りと果実味を感じられます。

福島県から県外に避難されている皆さまへ

放射線の健康影響に関するセミナーの開催

福島県から県外に避難されている方を対象に、福島県内の最近の状況を踏まえ、食べ物や農作物、放射線と健康影響、甲状腺超音波検査などについて、専門家や医療関係者より分かりやすくお話しします。講師の方と一緒に放射線、健康について考えてみませんか。

| 開催県 | 開催日 | テーマ | 実施会場 |
|-----|-------------------------|---------|-------------|
| 千葉県 | 9月25日(日) 午後1時30分～4時40分 | 食品、甲状腺 | クロス・ウェーブ船橋 |
| 秋田県 | 10月16日(日) 午後0時50分～4時00分 | 食品、甲状腺 | 秋田県生涯学習センター |
| 山形県 | 10月30日(日) 午後1時20分～4時30分 | 食品、健康影響 | 山形市総合福祉センター |
| 沖縄県 | 11月26日(土) 午後1時20分～4時30分 | 食品、甲状腺 | 沖縄県青年会館 |
| 愛知県 | 12月18日(日) 午後1時20分～4時00分 | 甲状腺 | ウイंकあいち |
| 愛知県 | 1月15日(日) 午後1時20分～4時00分 | 甲状腺 | アイプラザ豊橋 |
| 京都府 | 2月25日(土) 午後1時20分～4時30分 | 食品、甲状腺 | 京都府中小企業会館 |

※セミナー終了後に講師等による希望者への個別相談を行います。 ※託児(無料)あります。

主催 環境省

問 運営事務局:公益財団法人原子力安全研究協会 放射線環境影響研究所 ☎0120-160-890(受付時間:平日10時～17時(土日祝日除く)) FAX 0246-35-5185 ☐h28fukushima@nsra.or.jp



原子力損害賠償

住居確保損害等の賠償に関する説明会・相談会の開催について

原発事故時点で避難指示区域の住居にお住まいだった方を対象に、住居確保損害等の賠償について説明会及び相談会を開催いたします。なお、説明会、相談会ともに電話による事前申込みや予約が必要となりますので、ご希望の方は下記申込・予約受付先までご連絡ください。



| 対象者 | 原発事故時点で避難指示区域内の持ち家または借家にお住まいだった方 |
|-----------|--|
| 当日のスケジュール | 第一部 国及び東京電力による説明会 (午前10時～11時30分) 国及び東京電力が、住居確保損害の賠償などに関する賠償基準や請求手続きについて説明します(事前の申込みが必要です)。 |
| | 第二部 東京電力による相談会 (午後1時～4時45分の間。1組あたり30分程度) 住居確保損害の賠償や宅地・建物の賠償、その他の賠償項目に関する請求手続きに関して、東京電力が個別面談方式により、ご相談をお受けします(事前の予約が必要です)。 |

| 開催日・開催地 | 説明会・相談会場 | 開催日・開催地 | 説明会・相談会場 |
|------------------|--|--------------------|--|
| いわき市 9月10日(土) | いわき市文化センター(いわき市平字堂根町1-4) 大ホール(説明会) 大講義室(相談会) | 郡山市 10月1日(土) | 郡山市労働福祉会館(郡山市丸丸町7-7) 大ホール(説明会) 中ホール(相談会) |
| 南相馬市 9月25日(日) | 原町生涯学習センター(南相馬市原町区小川町322-1) 集会室(説明会) 南相馬市労働福祉会館(南相馬市原町区北町537) ※原町生涯学習センターに隣接 会議室1・2(相談会) | 福島市 10月16日(日) | 福島県青少年会館(福島市黒岩字田部屋53-5) 大研修室(説明会・相談会) |
| | | 会津若松市 10月30日(日) | 会津大学(会津若松市一貫町大字鶴賀字上居合90) 大講義室(説明会) 中講義室(相談会) |

申込・予約受付先 福島県(原子力損害の賠償等に関する問合せ窓口) ☎024-521-8216(平日 午前8時30分～午後5時15分)

詳細は、県のWEBサイトをご覧ください。 [福島県 住居確保損害説明会](#)

「ふくしまの今が分かる新聞」バックナンバーはこちら

福島 今が分かる新聞



編集後記

夏バテしそうな日照りが続いていますね。そんな強い日差しの中、私はRockCorpsのボランティア活動に参加! コットン畑で、秋の収穫に向けた畑のお手入れなど充実した時間を過ごしてきました。暑い日が続きますが、コットンも収穫できる涼しい秋までもう少し。皆さんも暑さに負けず体調に気をつけてお過ごしください。【ハル】